

第187号

3月定例会号

発行：令和5年4月25日

# 湘南にのみや 議会だより

災難から海と地域を見守る  
「浜の観音さん」(中町)



リニューアルした  
新議会ホームページ  
ご覧ください (^^)

## 1月臨時会 (1/26) ・ 3月定例会 (2/28 ~ 3/28)

- ◆ 令和5年度予算ポイント、審査意見 ..... 2~3
- ◆ 予算総括質疑 (4名) ..... 4~5
- ◆ 予算賛否討論 (10名)、政治倫理推進特別委員会設置 ..... 6
- ◆ 補正予算、条例改正 ..... 7
- ◆ 議員提出議案、賛否一覧表 ..... 8
- ◆ 一般質問 (6名) ..... 9~11
- ◆ 議会トピックス ..... 12

令和5年度  
予算

総額172億445万円  
賛成9：反対4で可決

※各議員の討論はP6を  
ご覧ください。

## ～村田町長施政方針 町予算のポイント～

よりよい未来に向けた、持続可能なまちづくり

※千円単位四捨五入

●出産前から切れ目のない支援と将来を見据えた教育環境の整備 9,304万円

産婦健診助成と産後ケア、ヤングケアラー等  
対応、保育士人材確保、休日部活動指導 他

●災害に備えた公共施設等の整備 4億7,203万円

役場新庁舎整備、公共施設再整備、災害に強い  
インフラ整備、第3分団ポンプ車 他

●町民の暮らしを守る、気にかける町 1,805万円

福祉相談支援システム導入、みまもりガイド活  
用、新たな交通システム研究 他

●まちの魅力などの情報発信の強化とデジタル化の推進 2,867万円

新ホームページ、情報発信体制構築、デジタル  
化推進、二宮ブランド認知度強化 他

## こんな質問？意見！が多かった

※千円単位  
四捨五入

### ① 役場新庁舎整備

基本設計委託料 6,600万円<sup>1)</sup>

- ・結局いくらかかるのか？
- ・無駄な支出だ！
- ・早く事業費を算出せよ！



### ② 施設再編推進

地域集会施設耐震整備 1億3,213万円

富士見が丘公会堂整備 5,940万円<sup>2)</sup>

- ・地区との調整は済んでいるか？
- ・ところでいつ着工するのか？
- ・安全は図れるのか？



### ③ 災害対策

消防署改修設計費 1,537万円<sup>2)</sup>

- ・改修して何がかわるか？
- ・ペットと同伴での避難は？
- ・署内のジェンダー対策は？

### ④ 有害鳥獣対策

農地および住宅地対応 258万円

- ・確保した頭数は？
- ・住宅地での被害は？
- ・広域での対策を！

### ⑤ 小中一貫教育校

分離型推進および一体型研究費 381万円

- ・保護者への説明不足！
- ・分離型のメリットが見えない！
- ・教職員の負担増になるのでは？



### ⑥ 給食費無償化

食材費高騰分 986万円

- ・高騰分補助を無償化と言えるのか？
- ・いつから始めるのか？
- ・中3からでも早く始めよ！



### ⑦ 子ども・子育て支援

乳幼児紙おむつ用ごみ袋配布 43万円

妊娠出産応援金各5万円 1,885万円

産婦健診、産後ケア 136万円

- ・何人を見込んでいるか？
- ・対象となる期間は？
- ・紙おむつのリサイクルは？



### ⑧ 幼稚園、保育園への支援

新規保育士支援、幼保園へ心理士巡回増 329万円

- ・お金で保育士が確保できるのか？
- ・園と連携は？
- ・状況の把握・課題は？

1) 令和5～6年度までの継続費 2) 令和4～5年度までの継続費

## 予算総額・構成比・対前年比較

区分	令和5年度	構成比	対前年
一般会計	89億7,700万 円	52.2%	1.3%
特別会計	67億9,056万6千円	39.5%	△12.3%
国民健康保険	28億5,283万5千円	16.6%	△ 3.6%
後期高齢者医療	10億1,944万8千円	5.9%	1.0%
介護保険	29億1,828万3千円	17.0%	3.3%
企業会計	14億3,688万5千円	8.4%	皆増
下水道事業会計			
合計	172億 445万1千円	100%	3.6%

※下水道事業特別会計は、令和4年度末をもって廃止。将来にわたり持続可能な下水道経営のため、公営企業会計「下水道事業会計」へ移行。  
(令和4年第3回定例会にて条例制定済)

## 町の貯金（基金）状況（一般会計において）

財政調整基金2億3千万円、公共施設整備基金1億90万円ほか、計3億3,712万円を取り崩す一方、庁舎整備基金へ9千万円を積み立て、令和5年度末の基金総額は21億8,104万円となる見込み。

## 予算審査特別委員会



一般会計予算の表決

委員長：羽根かほる（副議長）

副委員長：小笠原陶子（総務建設経済常任委員長）

総務建設経済常任委員会：小林幸子 渡辺訓任

教育福祉常任委員会：松崎健 前田憲一郎 古谷健司

※ 総務建設経済常任委員長を含め、両常任委員会より3名に副議長を加えた計7名で構成。

## 令和5年度 予算審査意見

- ① 役場新庁舎整備は、ラディアンや駅前複合施設等を活用し費用を抑えコンパクトな施設とし、早期完成を実現されたい。
- ② 防災訓練は、夜間やペット同伴など様々な状況を想定し一歩進んだ訓練を実施されたい。
- ③ 消防庁舎改修は、職員の勤務環境を改善すると共に、切れ目なく災害対応できるよう努められたい。
- ④ 地域公共交通推進事業は、より広く意見を聴取し、交通弱者に対する施策を明確に講じられたい。
- ⑤ ヤングケアラーへの認識を深めるため研修等を実施し、緊急時のみならず常時支援を進められたい。
- ⑥ 小中一貫教育推進事業については、保護者・町民に十分な周知を行い、理解を深める取り組みを進められたい。
- ⑦ 農業・商工業振興において、光熱費・原材料高騰等に伴う状況把握に努め、適切な支援をされたい。
- ⑧ 公園統廃合計画にあたっては、福祉的視点を取り入れ高齢者・障がい者等、誰もが利用しやすいものとされたい。



無所属  
前田憲一郎 議員

町民の利益、生活の向上に  
向けた予算編成なのか

**Q** 全事業を精査検討するとのことだったが、全事業をどのように精査し、財源を見直したのか。

**A** 予算編成にあたっては、社会的ニーズに適合しているか、持続性や費用対効果があるかなど、さまざまな観点から見てすべての予算を1件ずつ査定し、作成した。

**Q** 町長の所信表明にあった8つのまちづくり宣言と具体的施策についての予算を、どこにどのように予算付けしたのか。

**A** まずは、二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画に基づく事業に重点配分した。一方で、学校教育、子育て支援にも重点配分している。

**Q** 県の小児医療費拡大に伴い浮いた財源を、どのように子育て支援に活用していくのか。

**A** 食材費が高騰し値上げを余儀なくされた小中学校の給食費について約1千万円を補助していく。子育て支援事業の中で新たに産後の母親の心や体の健康保持を支援するための産後ケア事業をスタートさせる。0歳から1歳のお子さんがある家庭に紙おむつ用のごみ袋を無償配布する。3歳児健診において、目の屈折検査を健診当日に全員実施する。幼稚園や保育所へ心理士を派遣している巡回相談をこれまでの年間22回から44回に倍増していく。また、ヤングケアラーやひとり親家庭などで緊急に支援が必要な場合にヘルパーを派遣する緊急時子育て家庭安心サポート事業を立ち上げる。

これらの取り組みを始め、国の制度として新たに始まった出産・子育て支援応援交付金や従来からの子育て支援策と併せ、切れ目のない子育て支援に取り組んでいく。



小中一貫教育で「にのみや学園」  
の一つになった一色小学校体育館



無所属  
古谷 健司 議員

活用していない土地の把握と  
活用・売却を！

**Q** 活用されていない土地がどのくらいあるか。活用する予定がないのなら、現在の金額を把握し売却するなど、今後の計画を決定しないのか。

**A** 5,400㎡ある（東京大学果樹園跡地、緑が丘区画整理の際に寄付された山林等を除く）。町内各所に点在しており、取得の経緯も含め不明な点も多く、これまで、活用に向けた検討をしてこなかったが、今後は売却の可能性等についても確認していきたい。

**Q** 土地を借りて公園運営がなされている。借地をしている公園用地と年間の借地料、今後の考え方は。ぜひ借地の解消に努めてほしいが。

**A** 毎年1千700万円で吾妻山公園、せせらぎ公園等の一部を借地している。借地の解消や借地契約の見直しも引き続き行っていく。

**Q** 小中学校給食費の無償化、とりあえず中学3年生からだけでも無償化して欲しいが、今年度は給食費をどう補助するのか。

**A** 令和5年度は小中学校給食費のうち、食材費高騰分として総額985万9千円の補助を行う。今後も、給食費の段階的な無償化に向けて、引き続き財源の検討をする。

**Q** 地域と学校が連携し、生徒・児童の学力向上を望む。現在、学習支援授業のための国・県補助金を利用して、二宮中学校で学校運営協議会が行っている寺小屋の学習授業、さらには学力の底上げ、つまり、学力の低い生徒・児童に勉強を教えていけないか。

**A** 地域学校協働活動の取り組み内容は、推進員が中心となって、児童・生徒、保護者からのニーズを踏まえながら、学校関係者と話し合っているため、それぞれの学校の意向を尊重したい。



毎年1千7百万円もの借地料で公園が  
運営されている。借地の解消を！

# 対し4名の議員が総括質疑



無所属  
大沼 英樹 議員

果樹公園を廃止し庁舎建設する予定確認したか

**Q** 大きな庁舎は要らないと声がある。集中は20年前の古い考え。ICTの普及、災害時、地域の活性化には自立分散が未来の姿。職員の執務スペースに変更がなく、建設費の高騰が見込まれるが、数字の一人歩きが怖くて出せないというのでは不安を感じる。村田町政からコンサルティング委託が増加し職員の現場離れ、調査不足など能力の低下を心配する。新庁舎は小規模、廉価が求められており、果樹公園の廃止、交通環境の変更、庁舎規模、健全財政の公表をしていただきたい。

**A** 近隣をモデルに算出した、今後精査する。

**Q** 小中一貫教育・中1、小1ギャップと言われ強くしなやかな心をつくる教育が必要。不登校、休校、英語学習の増加、国語力の低下、塾通いの経済負担軽減に動画配信が必要だと思うが、いかがか。

**A** キャリア教育の視察は刺激になった。意見聴取し施設一体型にしていく。タブレットは自宅に持ち帰り、一斉休業でないときも使えるように進めている。

**Q** 保育士へ補助金との事だが、資格取得支援、家庭の子育てに奨励金の配付も出来る。保育士不足の現状から園の運営状況をどう見ているか。

**A** 遅ればせとなるが補助する。資格取得援助は他の自治体を見る。社会的に労働力が不足しており家庭での保育援助は現実的ではない。

**Q** 小中一貫校には具体的な内容明示を求める。女性も働く時代との話だが保育の選択が可能な、より良いまちづくりを願う。給食費無償化はいつ頃か、給食は不登校の原因と成りえるので、オーガニックは虫に慣れる農業体験の授業が必要では。

**A** 公共施設の統廃合を進め無償化したい。真冬にトマトは食べないなど地産地消、農薬の少ないものを使ってほしいと考えている。



?億円の取得費用  
利用者は理解しているか



無所属  
一石 洋子 議員

「二宮郷」大地から創造する子育て・教育の町を

**Q** DX(デジタルトランスフォーメーション)の進化は各自治体の仕事の統一化であり、より人間的な郷的なイノベーションが起きやすい公共施設デザインが肝要。さらに木材の活用やZEB、単身世帯配慮、子ども、若者が生き生きと活動する姿が多世代がつながる力である等、新庁舎・駅周辺公共施設再編計画にビジョンが必要と思うが。

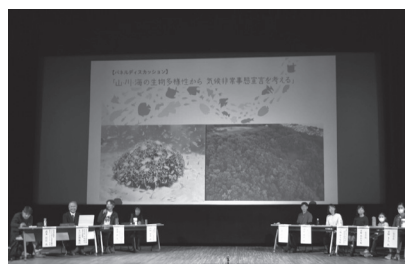
**A** 木材は現実的な選択肢。ZEBはニセコ町等参考にライフサイクルコスト低減に注力した有効な選択をする。多世代の憩える場としてラディアンのリニューアル、ホテル跡地複合施設計画で応えたい。福祉的居場所も視野に入る。

**Q** 国立小児病院跡地は厚労省の意見のとおり、子どもの福祉に資する計画が必要。予算化された産後ケア・母子支援の施設誘致が有効ではないか。

**A** 民間主体で可能だ。

**Q** 校内居場所、心理相談員常駐等は、公教育の変革には不足。東大果樹園跡地の町内団体主催の不登校児童生徒の居場所とも協働を。気候非常事態宣言発出にあわせ小中一貫教育へのチャレンジに加えて住民団体と協働し、自然、子どもの権利に注力した骨太の子育て・教育を推進、この町で働きたい、子育てしたい人を増やしたいが。

**A** 校内フリースペースは必要性に応じて展開する。気候非常事態宣言は子どもから大人までが二宮の環境を地球規模、世界規模で考える輪を広げるきっかけにする。東大果樹園跡地の活動につながる「子ども夢パーク」の代表には、保護者も一緒に参加する教育委員会、教職員向けのラディアンホールでの研修会でお話しいただく予定。子育て支援の多方面と連携して積極的に紹介、支援する。



二宮気候非常事態宣言に向けて  
ぼくたちわたしたちの地球会議2023

## 賛成

# 一般会計に賛成×反対 討論

新規事業、物価高騰対策等「新たな町の創造」に向け、期待感のある事業が盛り込まれていることを評価。青少年健全育成事業は各団体の実情にあった取り組み、有害鳥獣対策事業は捕獲体制を強化し継続的な対策を求む。(岡田)

新役場建設、果樹公園取得、駅前複合施設の検討等多くの財源が必要となる。その財源確保のための ①公共施設の再編検討 ②町の財産である未利用地の活用・売却の検討 ③公園等の借地料の減額努力を評価する。(古谷)

保育士の雇用促進、ヤングケアラーにヘルパー派遣、産後ケア等子育て支援策の実現を評価。燃料等高騰の商工業への対策は、補正予算で支援を。関東大震災から100年の節目の年、災害に強いまちづくりを願う。(羽根)

新庁舎・駅周辺公共施設再編計画にのっとり、果樹公園に、役場新庁舎を建設するためのラディアン周辺行政機能等集約基本設計委託料や、保育士不足に就労支援給付金を支給し、町内保育所の合同就職相談会の開催等を評価。(小笠原)

複合的課題解決、未来ビジョン見せる新庁舎・駅周辺公共施設再編計画、公共施設再編推進、にのみや学園、校内フリースペース、母子若者支援、福祉のまちづくり、防災等に風土と人の自然の力を深掘し生かす施策求む。(一石)

産前産後含めた子育て支援事業の増を評価。役場新庁舎整備に係る基本設計は進めるべき。理由 ①災害対策本部が機能しない ②事業費が延々と不明のまま ③今後の実施設計や建設費予算で異議を示せる ④町長選挙の結果(野地)

給食費の無償化に対し、予算に反映されていない点や、役場新庁舎建設等に関わる基本設計委託料が高額な点等承服しかねるが、小中学校5校、地域公共施設の改修工事等に多額の予算付けがされた点を評価する。(前田)



議論の多かった  
役場新庁舎建設予定地の果樹公園

## 反対

保育・学校、子どもに対し対応が不十分。立ち往生で計画変更している富士見が丘公会堂整備事業を目前に、大金を注ぎ込む庁舎関連計画予算は果樹公園の取得・廃止となり理解できない。自然環境を破壊する確認が必要。(大沼)

町が未だ解決策を示していない人口減少による自治体消滅の可能性、これを受け県が作成した構想、ウクライナ情勢による建設費高騰は何れも現計画に大幅な変更を迫るもの。基本設計委託料4千6百万は無駄な出費。(松崎)

「未来の子どもたち、高齢者・障がい者にやさしい」まちづくりに不十分。①小中一貫教育校の推進 ②学校給食費無償化、小児医療費助成拡充の先送り ③弱い物価高騰対策 ④マイナンバーカード推進の4点は大問題。(渡辺)

## 議員提出議案

### 【政治倫理推進特別委員会設置】

3月定例会で設置された政治倫理推進特別委員会は、議会基本条例推進委員会と同じ委員で構成され、議会政治倫理規定要綱の実効性を高めることを目的とする。

具体的には、ハラスメント事案防止のため以下3点について検討し、議会へ提案する。

- ① 取り決めの形式(条例、規則、規定、要綱等の法制化レベルも含め)
- ② 組織や事案発生時の対応
- ③ 研修の実施

任期は議会へ提案するまで。

全会一致で可決

# 補正予算

※千円単位四捨五入

## <令和4年度>

- 一般会計補正予算 第8号  
(1/26臨時会 議案第1号)  
主な歳入… 出産・子育て応援交付金 (1,184万円)  
主な歳出… 出産・子育て応援交付金 (1,384万円)  
・ 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで  
①妊娠届を提出した人に5万円  
②出生届を提出した人に5万円  
全会一致で可決
- 一般会計補正予算 第9号  
(議案第13号)  
普通交付税の追加決定、事業費の確定等により、4,260万円を追加、総額を97億8,162万円とした。  
全会一致で可決
- 国民健康保険特別会計 第4号  
(議案第14号)  
保険基盤安定繰入金等の歳入増、国民健康保険財政調整基金積立金等の歳出増により、930万円を追加、総額を30億2,325万円とした。  
全会一致で可決

- 後期高齢者医療特別会計 第4号  
(議案第15号)  
広域連合検査事業補助金等の歳入減、健康診査事業の減により、363万円を減額、総額を9億4,706万円とした。  
全会一致で可決

- 介護保険特別会計 第4号  
(議案第16号)  
介護給付費交付金及び介護給付費準備基金繰入金の歳入減、特定入所者介護サービス給付事業及び高額介護サービス支給事業等の歳出減により、4,208万円を減額、総額を28億7,529万円とした。  
全会一致で可決

- 下水道事業特別会計 第4号  
(議案第17号)  
下水道受益者負担金の歳入増、消費税及び地方消費税の歳出増により、28万円を追加、総額を9億5,831万円とした。  
全会一致で可決

## <令和5年度>

- 一般会計補正予算 第1号  
(議案第23号)  
主な歳入… 新型コロナウイルスワクチン接種事業補助金及び負担金 (3億363万円)  
主な歳出… 新型コロナウイルスワクチン接種事業 (3億363万円)  
賛成12：反対1で可決

# 条例改正

- 情報公開・個人情報保護審査会条例改正  
(議案第2号)  
審査請求に係る諮問に関して、情報公開・個人情報保護審査会において審査する旨の規定を追記した。  
全会一致で可決
- 生涯学習センター施設と駐車場の使用料、武道館使用料の減免  
(議案第3号) (議案第4号) (議案第5号)  
「教育委員会が特に必要と認めるときは、規則の定めにより使用料を減免することができる」と改正。精神障害者保健福祉手帳を有する方の減免を規則に追加した。  
全会一致で可決
- 体育館、運動場、プールの団体使用料の改正ほか  
(議案第6号)  
体育施設の使用料を見直した。  
団体登録は10人以上とし、年間パスポート廃止、協定市町以外の利用料金は倍額。  
賛成7：反対6で可決

- 二宮町国民健康保険条例の一部改正  
(議案第10号)  
健康保険法の一部改正により、出産育児一時金支給額を引き上げる。(令和5年4月1日施行)  
出産に係る経済的負担を軽減し、安心して出産できるようにするため、支給額を引き上げるもの。  
[改正前 420,000円→改正後 500,000円へ増額]  
全会一致で可決



さまざまな子育て支援を、  
町・県・国が行っています

# 議員提出議案

## 「議員定数および報酬検討の特別委員会設置についての動議」

提出者：大沼英樹、松崎健、浜井直彦、前田憲一郎、善波宣雄 賛成6：反対7で**否決**

### 【提案理由】

二宮町議員報酬及び特別職給料審議会の答申は町民の声。この中で議員報酬を定数の見直しとともに考えるべきとの意見が出されている。全国的にも議員のなり手不足が問題化する中、世帯主の生計が成り立つには程遠いのが現状。希望を持って町政に取り組める環境づくりを考えたい。今回の選挙でも定数を1名越えるのみで魅力があるとは言いがたい。

時間をかけて慎重に議論すべき内容であり、任期2年の常任委員会ではなく、特別委員会の設置を求める。定数・報酬の増減を前提とせず、前向きな議論を呼び掛けるもの。

### <反対討論 6名>

なり手不足の問題は検討を要するが、目的が見えづらく8人での特別委員会設置は時期尚早。全員参加での意見交換や委員会で取り上げることもできるし、他に優先課題がある。定数を減らそうとする意図も見え、減った場合の意見の偏りを危惧する。

### <賛成討論 3名>

町村議会においてなり手不足が報じられ無投票となるケースも増えている。公費負担制度が導入された先の町議選でも候補者は逆に減少した。定数減を危惧する声があるが、この2年で1名の欠員があるも問題はない。議論を深めるために設置が必要。

## 各議員の議案に対する 賛成・反対は？

		羽根かほる	小林幸子	岡田幸次郎	一石洋子	渡辺訓任	小笠原陶子	松崎健	浜井直彦	前田憲一郎	古谷健司	善波宣雄	大沼英樹	野地洋正	根岸ゆき子	結果
議員提出議案名																
	政治倫理推進特別委員会の設置について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議員定数および報酬検討の特別委員会設置についての動議	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否決
町長提出議案名（左は議案番号）																
1	令和4年度二宮町一般会計補正予算（第8号）【臨時会議案】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2	二宮町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3	二宮町生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
4	二宮町生涯学習センター駐車場条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
5	二宮町武道館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
6	二宮町体育施設の設置、管理等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	可決
7	二宮町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
8	二宮町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9	二宮町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
10	二宮町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
11	第3分団消防ポンプ自動車購入物品供給契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
13	令和4年度二宮町一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
14	令和4年度二宮町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
15	令和4年度二宮町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
16	令和4年度二宮町介護保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17	令和4年度二宮町下水道事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
18	令和5年度二宮町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19	令和5年度二宮町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20	令和5年度二宮町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21	令和5年度二宮町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
22	令和5年度二宮町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
23	令和5年度二宮町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議案について、○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。

※議長は採決に加わりません。



# 一般質問

※記事は質問者から提出された原稿を基に作成しています。



無所属  
野地 洋正

**問** 役場の継続使用は困難とする中で、「災害対策本部」は機能するか

**答** 計画は現施設をもとに策定している、災害に強い庁舎であることは必要不可欠

Q 災害への準備、警戒はどうなっているか。

A 地域防災計画や業務継続計画等を策定し、地震災害、風水害を想定した災害対策本部図上訓練、民間企業との物資等供給協定、ハザードン啓発等、災害対応力向上にさまざま努めている。

Q そもそも「建物の継続使用は困難」とされる中、災害対策本部がしっかり機能するか不安だが。

A 耐震性の備わった中で災害対策本部運営を行う必要がある。過去の被災事例から、耐震性の弱い庁舎やテントでの本部運営では、職員だけでなく住民への混乱が生じているのが現状。計画では、役場庁舎が災害対策本部として使えない場合、消防庁舎に本部機能を設置し対応することとしている。

Q 体制、設備、機能等さらなる充実のためには何が必要か。

A 発災時、不安なく災害対策本部がすぐに立ち上げられる強固な役場庁舎。必要に応じた各種計画の見直し。予防・対策・対応等に活用できるデジタル機器とその環境。国や県の財政的援助。緊急避難的要素の仮庁舎の整備は、二重投資となる可能性もあることから考えられない。

【要望】体制はまだまだ不十分。災害対策本部がすぐに、そしてしっかりと機能できるよう、拠点づくり、整備を早期におこなうこと。



「災害対策本部」図上訓練  
令和4年6月22日



無所属  
岡田幸次郎

**問** 青少年健全育成事業の進捗及び今後の課題と取り組みについて

**答** 現実的な中で、生涯学習活動の支援、改善をできるところから取り組む

Q 加入率の低迷状況や今後、子どもたちの育成のことを考えると「地域の子どもは地域が育てる」方向へシフトしていく必要があると思うが考えは。

A 地域による子育てといった取り組みは、非常に大切なものだという認識。一色小学校で先行導入して、その翌年、小中学校でも導入したコミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の取り組みにも通じる。地域、家庭、学校が連携、協力のそうした取り組みを続けていただくことを町としてもしっかりと支援をしていきたいと考えている。

Q 青少年指導員の地区活動での役割、位置づけ、またリーダー育成についての考えは。

A 地区長からも役割について説明を求められており今後、相談しながら進めていきたい。リーダー育成も

含め、事業対象が子ども会育成会、青少年指導員、スポーツ推進員の3団体が連携しリーダー育成も含めた子ども野外研修（デイキャンプ）を開催する運びとなった。

Q 育成活動を「地域小ブロック化」へシフトし、大人と子どもたちの顔が見える距離にしていける事が必要であり、生涯学習振興の課題かと思うが。

A 現在進めている生涯学習推進計画の中では、地域における生涯学習活動の支援及び家庭の教育力の向上に向けた取り組みも充実が必要であり、計画の中で大切な1つとして盛り込みを検討したい。



今年野外研修は  
デイキャンプ

# 一般質問



無所属  
羽根かほる

問

①町内の保育士の雇用促進策は  
②新庁舎整備の今後は

答

①就労支援給付金・就職相談会を計画  
②町民と共に育っていく施設へ

Q 保育士の雇用促進に向けた町の取り組みは。

A 令和5年度、保育士就労支援給付金を予算計上。新規に常勤保育士として就職し、勤務を継続した方を対象に採用から1年目に年額12万円、2年目に年額6万円の給付を行う。また、町内保育所合同の就職相談会を開催。各保育所の特色をアピールする。

Q 町長に伺う。今後の保育園の在り方は。

A 社会の状況が変われば保育の内容も変わってくるかもしれない。お子さんたち、保護者の方たちに不安を与えないような、一歩先を見据えたような対応をしっかりとしていきたい。

Q (②新庁舎整備) 基本設計で示される内容は。

A 新庁舎建設とラディアンのリニューアル、にのみやホテル跡地活用の3つの基本設計を同時に行う。

Q 建設場所に計画されている果樹公園の取得は。

A 県知事からも、町が取得するのなら何よりであるといったお言葉をいただいている。

Q 町長に伺う。計画で示す町民とのつながりとは。

A 安全・安心、先を見据え柔軟性を持つことが基本的な考え。プラス、ラディアンの中に何の機能を入れるか、人々が集い憩える場所としての機能をしっかりと高めたい。公共施設が、町民の方々に、生活の一部として常日頃から使われて一緒に育っていけるようなものを、未来に向けてつくっていききたい。議員の皆さまからもさまざまなご提案をお願いしたい。



基本設計に進む新庁舎整備  
現庁舎は老朽化が進む



無所属  
浜井 直彦

問

町の地域公共交通の現状と  
今後について

答

さまざまな事例を収集し、コミュニティバス  
に限らず公共交通の姿を考えていく

Q 町として、「交通事情」や「公共交通」をどう考えるか。

A 同規模の自治体と比べ、路線バス等の交通網は充実。一方で運転士不足や、コロナ禍も影響し利用者の減少による路線バスの減便で町の交通事情も悪化。今後も高齢化で移動困難者は増えていく。

Q コミュニティバス、運行ルート以外の交通弱者にどのような対応をしていくか。

A 交通事情の悪化や全町的な高齢化により、既存のバス停までも移動することが困難な高齢者、障がい者の方々といった広い意味での交通弱者対策については、何らかの取り組みを展開する必要性が出てきていると考えている。なお現在、福祉対策としてタクシー券の助成も行っている(対象条件等有り)。

Q 高齢者に悲惨な事故を起こしてほしくないが、高齢運転者の免許証返納後の町の対応は。

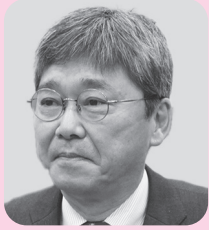
A コミュニティバスの乗車時割引手形や、75歳以上など条件により差額を負担いただくと運賃無料になる手形(いずれも有効期間1年間)を発行。バス利用など公共交通に慣れていただく一助との考え。

Q 既存の交通システム以外の検討はしているのか。

A 令和5年度は新しい地域公共交通計画を策定する中で、交通事情の悪化、高齢化等の課題を踏まえて、新しい交通システムの導入も含めた検討を、5年間の計画期間の中で結論が出せるよう進めていく。



誰もが将来も不安なく  
移動できるまちづくりへ



日本共産党  
渡辺 訓任

問

①子どもまんなか施策を早急にすすめよ  
②高齢化対応のゴミ収集計画を

答

①財源確保と人材の育成が課題  
②実態把握と事例研究を検討する

Q 町長公約の学校給食無償化の状況は。「義務教育無償」としてすすめよ。必要な費用は、実質8千万円。財源を1年ごとに拡げるなど、早い実施を。

A 安定的な財源を確保し、段階的な実施は保護者の不公平感にも配慮しながらすすめる。

Q 施設分離型小中一貫教育校の設置は、地域の合意ができていない。4月からの実施は拙速だ。学校統廃合の国の狙いは、教育費の削減ではないか。

A PTA総会や運営協議会では説明している。20年後小中学校を1つにすると、5校そのままより5クラス減る試算。先生の配置・数は県が決める。

Q 小児医療費拡充について、1,500万円の原資があると考えますが、18歳まで拡大する費用は。

A 拡充には1,400万円必要と見積もる。

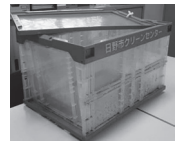
Q 名実ともに待機児童ゼロをめざすため、定員の見直しや小規模保育などについてはどう考えるか。

A 児童の受け入れには保育士の確保がネックになっている。小規模保育などの位置付けは、保育必要量の見直しの中で検討することになる。

②高齢化対応のゴミ収集計画について

Q 高齢化が進む中でのゴミ収集のあり方は。さしあたり、朝のゴミ出しが難しい場合に、指定の箱を使い収集日の前日に出す「ハンディキャップボックス」は導入できないか。

A 計画は現状把握と他自治体の事例研究を検討する。箱は必要があれば計画に取り入れていく。



指定日以外にゴミ出しができる容器（日野市）



無所属  
小笠原陶子

問

持続可能な環境のため  
ごみ処理計画の進捗と啓発活動は

答

過去3年でごみは増えている  
啓発は各種催しなど出向いて実施

Q 家庭ごみと事業系ごみの減量化の進捗は。

A 平成28年から令和2年の3年間は削減目標よりごみ搬出のほうが多い。その要因は新型コロナウイルス感染症の影響で自宅にいる時間が増え、不用品の整理をされた事とみている。可燃ごみは微減している。

Q 町は予算書の資源ごみ売り払い収入を880万円と前年より多く見込んでいる。しかし町民のミックスペーパーについての認識が足りないと思うがどうか。

A 令和4年5月の広報に掲載した。捨てればただのごみ、燃やせば費用が掛かる。一方で分別すれば収入となる。もう少し目に付く広報が必要と考える。

Q 広報は紙媒体だけでなく通いの場などでどうか。

A 希望に応じ、各集会に出向いて啓発していく。

Q 地域環境推進員の委任内容と研修は。

A 役割はごみの減量化、分別、資源化、地域の環境美化や清掃に関すること。研修は近年コロナでできていない。

Q ごみ減量化研究会が目的を果たしたと解散したが、意識のある方が集まってウェブサイト上での意見交換の場などできないか。

A 町では環境基本計画の位置づけで、1月29日に町民とワールドカフェを実施した。参加者は小学生から50代まで16名。テーマは地球温暖化、ごみ削減、生物多様性などそこで自由に発言し意識の共有化を図った。



資源回収でポイントの貯まる店舗もあります

# 委員会ではこんなことを議論

## 二宮町議会【2月13日 1期生を対象に勉強会を開催】

3月議会前での研修はとても有意義であった。今後もタイムリーなテーマで適宜開催を希望との声

- ① 予算審査特別委員会の目的、進行 事前に仕組みやルールを聞いておけた点については良かったが、やはり何度か経験してみないと難しいのが本音。
- ② 役場新庁舎整備に向けた今までの経緯 平成31年度の予算削除から、どのような経緯をたどってきたか理解した上で予算審査に望めたことは大きかった。
- ③ 議会基本条例の目的、意義、解説 平成25年に策定された当時の背景や、議会の役割、議員の活動等、条文解説も丁寧に改めて認識できた。



### 総務建設経済常任委員会

- ① 新庁舎整備に求められる機能について
- ② 地域公共交通のあり方について

継続調査のテーマを上記のように決定。

町民の期待に応えられるテーマを決定すべく1月11日、26日、2月14日と調査研究会を開催し、2月14日は企画政策課職員から、町の公共交通政策の現状と課題を聞き取りした。

### 教育福祉常任委員会

#### 「子どもの権利について」

継続調査のテーマを上記のように決めました。子育ての町として価値を高めるために、子どもの権利にかかる喫緊の課題を調査します。提案すべき現場の案件に柔軟に対応しながら研究していきます。

中項目としては

- 学校での子どもの権利
- 地域での子どもの権利

とします。

### 議会運営委員会

#### 【定例会を振り返り、課題を抽出し対策を練る】

議会規則、ルールにのっとり積極的な議員活動および議会活動が行えるよう、12月定例会後調査研究会、委員会を開催協議し3月議会に臨んだ。

- ・ 新人議員を対象とした研修会の開催要望
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の継続
- ・ 総括質疑、一般質問の発言時間
- ・ 陳情審査等の委員会運営
- ・ 不適切発言の確認
- ・ 先例確認事項の変更（テレビ放映日） ほか

### 議会基本条例推進委員会

政治倫理に関する内容は、政治倫理推進特別委員会で進めることを提案、可決された。

コロナ禍の収束が予測できず、3月定例会の「議会報告会」はオンラインでの実施を試行する。

- ① 4月27日（木） 19:30
- ② 5月7日（日） 10:00

テーマ：3月定例会報告（令和5年度予算ほか）

オンライン参加が難しい方は会場で参加できます。詳しくは議会HPをご覧ください。お問い合わせください。

## 議会だより編集委員会



善波宣雄議員より「感謝状」を授与

編集後記

今号は改選後の新委員で作成した第2号です。令和5年度予算審議の内容など、議会での出来事や町の課題、議員一人ひとりの考えが分かるような紙面作りを心掛けました。皆さまが議会だよりの発行を楽しみにして下さるよう、これからも委員一同頑張っております。（善波）

### 議会だより編集委員

委員長 松崎 健  
副委員長 野地 洋正  
委員 小林 幸子  
浜井 直彦  
前田憲一郎  
善波 宣雄

